

平成25年度福島県優良建設工事表彰受賞者一覧

Table with 4 columns: 部門 (Department), 受賞者(所在地) (Awarded Party/Location), 受賞回数 (Award Count), 工事内容(施工場所) (Project Content/Location), 請負額(円) (Contract Value). It lists various construction projects across different departments like Agriculture/Water, Civil Engineering, and Disaster Relief.

※受賞回数は本社調べ。JVによる受賞を含む。合併企業は当事会社分を合算

県の25年度優良建設工事26件、延べ28社が決まった。今回45回目の表彰で、受賞対象は農林水産部8部門8件(8社)、土木部16部門18件(20社)。復旧・復興への貢献をたたえる観点で今年度、災害部門を新設しており、両部で8社が受賞する。表彰式は9月9日午前11時から、福島市の杉妻会館で。佐藤知事から受賞各社に表彰状と記念の盾が授与される。

今年度の受賞者と対象工事はハ別表。対象は24年度完成した、災害復旧を含む請負金額500万円以上の工事、農林水産部25件(農林水産部5日、土木部8日)を経て決定した。受賞回数累計最多の藤田建設工業は、今回の受賞で通算25回まで伸ばした。福島県南土木工業も今回、土木部が発注した土木、建築の2部門で受賞し、受賞回数を2つ増やし11度と一気に2ケタに乗せた。

県優良工事 技術の証 28社知事表彰 災害部門新設、8社受賞

水産部25件(農村整備関係130件、森林林業関係95件)、土木部1512件(土木関係1252件、建築関係260件)。このうち工事成績評定点80点以上の工事、農林水産部17件、土木部32件の推薦があった中から、現地調査と審査(農林水産部5日、土木部8日)を経て決定した。受賞回数累計最多の藤田建設工業は、今回の受賞で通算25回まで伸ばした。福島県南土木工業も今回、土木部が発注した土木、建築の2部門で受賞し、受賞回数を2つ増やし11度と一気に2ケタに乗せた。

表彰は、県発注建設工事の技術水準向上と工事の安全な施工確保を目的に、昭和42年度から行われている。昨年度までの農林水産部7、土木部15部門に今年度、別枠で災害部門(農林水産部2、土木部12)を追加設定した。今回は農林水産部のほ場整備、土木部の11部門で該当がなかった。お断り 一覧表中の受賞回数には本社調べ、合併企業は当事会社の受賞回数を合算。JVで受賞の場合、構成員企業それぞれ1回としてカウントしています。



発行所 福島市西中央2丁目59 (郵便番号960-8074) 福島建設工業新聞社 電話(024)534-7456 (大代表) ©福島建設工業新聞社 (社)日本専門新聞協会加盟紙



渡部工務所は7度目。北関東空調工業も追って創設(昭和48年度)された設備部門にあつて7度目の栄誉に輝いた。5度目が鈴木建設。4度目が矢祭建設、高橋建設、志賀建設、むさし建設、三崎組。3度目が石見組、松本工務店、東栄建設。2度目が田母神建設、利根川組、八ッ橋設備、会津ガスの各社。

丸中建設と山一緑化工木、三栄建設、会津法面、広栄電設の5社は初受賞を果たした。表彰は、県発注建設工事の技術水準向上と工事の安全な施工確保を目的に、昭和42年度から行われている。昨年度までの農林水産部7、土木部15部門に今年度、別枠で災害部門(農林水産部2、土木部12)を追加設定した。今回は農林水産部のほ場整備、土木部の11部門で該当がなかった。お断り 一覧表中の受賞回数には本社調べ、合併企業は当事会社の受賞回数を合算。JVで受賞の場合、構成員企業それぞれ1回としてカウントしています。